

「にいがた」緑の百年物語県民運動 スタート記念植樹に 取り組むグループを募集

2001年の「にいがた」緑の百年物語「木を植える県民運動」の本格的なスタートを記念して、来年4月29日（みどりの日）に長岡市と新潟市で記念植樹祭を実施します。これと連携し、県内各地で記念植樹に取り組むグループ（町内会、PTA、サークル等）を募集します。登録したグループには、記念植樹に必要な苗木や肥料と引き換えできる「緑のチケット」（1

万円相当）等が交付されます。
▼募集数 1,000団体（先着順）

▼登録期限 来年1月31日（水）

森の愛称募集

来年4月29日、長岡市「東山ふれあい農業公園」での記念植樹で作られる「にいがた緑の百年物語」の象徴となる森に素敵な愛称をつけてください。
▼応募期限 来年1月31日（水）

新潟2001年宇宙の旅

フィールド レポーター募集

県では、来年4月29日に、21世紀の幕開けと「にいがた」緑の百年物語「県民運動のスタートを告げるイベント」新潟2001年宇宙の旅「親から子へ、子から未来へ。今、新しい新潟が動き出す」を開催します。
「新潟スタジアム ビッグスワン」のお披露目を兼ね、スタジアムを未来に向けて旅立つ宇宙船に見立てて開催されるこの

ボランティア募集

「新潟2001年宇宙の旅」に、ボランティアとして参加し

てくださる方を募集します。
▼業務内容 スタジアム周辺及びスタジアム内の案内・誘導に当たっていただきます。業務に支障ない範囲でイベントの観覧ができます。
▼募集数 400名程度
▼応募期限 来年1月31日（水）

カーテンコール 出演者募集

「新潟2001年宇宙の旅」の夜に、特設ステージでカーテンコール・ライブを行います。様々なジャンルを越えてつく

ミュージカル 「緑の百年物語」 出演者募集

「新潟2001年宇宙の旅」のクライマックスは、創作ミュージカル「緑の百年物語」。さまざまな歌手が歌うテーマ曲にのせ、光と音と群舞によるスーパーパフォーマンスです。このミュージカルに出演する方を募集します。
▼募集数 数団体
▼応募期限 12月20日（水）

フレイブント 来場者募集

▼募集数 高校生以上 300名程度
・小学校4年生～中学生 100名程度
▼応募期限 12月20日（水）
「新潟2001年宇宙の旅」のイベント概要の発表を兼ねて、フレイブントが来年1月7日（日）県民会館で開催されます。この来場者を募集します。
▼応募期限 12月20日（水）

ふる里物語 町史編さんだより 69

建部遯吾著『西遊漫筆』より(3)

ドイツの学生

ベルリン大学に希望する社会学の講座がなかったため、遯吾は経済学を聴講しながらドイツの学生達を観察した。出発直前まで接していた東大生とは異なり、彼らはビールや歌などで青春を楽しみ、あまり勉強しようとしなない。なぜだろうか。

遯吾は、まず彼らが大学へ入る前の生活に注目した。九歳で

前修学校（小学校）を修了した中流以上の子弟は、直ちに九年間の中学に入学する。ほとんどが家からの通学で、日々の生活は「日本と比較できない程厳重な家庭の監督下で、服従束縛を強いられている」。さらに学習は「毎日四時間以上の予習復習」を要し、家庭教師による指導が加えられることも多い。こう

して育成されたドイツ中學生を遯吾は「温良にして柔順、多少活気に乏しいが、円満な発達状態」と評している。

しかし、彼らは大学に入ると一変する。家庭の束縛から解放されて、俄かに自由気ままな下宿生活になったことが大きな理由であろう。加えて遯吾は「年百年中試験の試の字もなく、ただ聴講料を払って、学期の初めと終わりに教授から聴講証

明をもらうだけでよい、大学の放任主義的制度」をも挙げている。

その結果、一見自堕落とも映る大学生、だが遯吾は彼らの骨格を見逃しはしない。「どんな学生でも決して手本を外国に求めることなく、自国を世界文明の最優等と確信し、自国の偉人に範を求め、それにあやかろうと努めている点は特筆に値する」と。彼らは幼い頃から「単なるドイツ語ではなく、自国文学・国民道徳の理想・国民人格の標準を含むドイツ学」を学んでいる。ドイツを中心とした一般世界歴史や、マルチン・ルーテルの教えに重点をおく宗教学も、

新新潟21世紀記念事業

問い合わせ

○記念植樹、愛称募集について
新潟県治山課 緑の百年物語推進班 ☎280-5220

○フィールドレポーター等、「新潟2001年宇宙の旅」の各募集について
新潟県企画調整部企画課 21世紀記念事業担当 ☎280-5219

イベントの応募方法等の資料は、役場企画財政課窓口にあります。
新潟21世紀記念事業については、新潟県ホームページをご覧ください。
<http://www.pref.niigata.jp/>

短歌

（公募作品）

個性ある書の並びし展覧会作者を思いつつぶさに観る
幼子も手話を使って歌い出す天に届けと澄たる声で
爽やかな小春日和のつるし柿活きた昔の知覚にふれる
ひとむろの紅くもえつつ曇珠沙華西日を受けてきらめきており
流れ行く日毎に記憶薄らぎぬ生き行く今を歌に書きとむ
音もなく空を飛びゆくゼット機が吸はるる如く雲に消えゆく
コウロギの澄たる音のやがて消えしさをそぞろ秋の深まり
怪我負いど五体満足喜びて家族は床の吾をはげます
古稀すぎても働ける身の嬉しくて握る鉄にも力のこもる
青葉中そろそろ色付く柿の色小鳥日に日に数多く見ゆ

- 青木 彬樹
- 村山 朱美
- 中村チヨイ
- 伊藤 吉作
- 高橋 一夫
- 田辺タケノ
- 渋谷 ウタ
- 清田 ミイ
- 清水 雅美
- 加藤 正喜



建部遯吾が留学していた旧ベルリン大学

（現フンボルト大学／ドイツ・ベルリン市）